

2014年7月4日

MHI ヴェスタス、Velling Mærsk プロジェクトに洋上風力発電設備を供給へ 世界最大出力 8,000kW 機 V164 の開発が第 2 段階に

三菱重工業とデンマークのヴェスタス社 (Vestas Wind Systems A/S) の洋上風力発電設備専門合弁会社である MHI Vestas Offshore Wind A/S (MHI ヴェスタス) は、デンマークのデベロッパである Skovgaard Invest ApS (スコウゴー・インベスト社) および Energicenter Nord (エネルギーセンター・ノーア社) の 2 社と、デンマーク西部で実施予定の Velling Mærsk (ヴェリングマースク) プロジェクト向けに、出力 8,000kW の V164 洋上風力発電設備 4 基を供給することを条件付きで合意しました。これにより、世界最大出力を持つ V164 の開発が商用化により近づくこととなります。

ヴェリングマースク・プロジェクトでは、商用生産に先立つ V164 の 0 シリーズを陸上に設置し、洋上での据付方法、運転・保守を検証します。同プロジェクトは、5 年間の試験運転と 20 年間のサービスを含んでおり、設置は 2015 年中頃に開始の予定です。

MHI ヴェスタスの Jens Tommerup (イェンス・トムラップ) CEO は次のように述べました。「今回、スコウゴー・インベスト社とエネルギーセンター・ノーア社、および同地域の多くの地権者がこのプロジェクトに投資を行ったことを非常に喜んでいますが、当社にとって大きな節目となる出来事で、V164 の開発が予定通りに進んでいることを明確に示すものでもあります。この V164 の 0 シリーズ初号機受注は、今後の商用化に向けて同機の性能、信頼性、効率を検証する重要なステップです。」

トムラップ CEO はさらに、次のように付け加えています。

「同時に、このプロジェクトは、設置を予定している Ringkøbing-Skjern (リンケビングースキヤーン) 地域が風力発電産業の発展に寄与する新技術開発の世界のリーダーであることを示すものです。同地域では、ヴェリングマースク・プロジェクトを中心に、風力発電開発の共同体が形成されてきました。ヴェスタス社は、過去 15 年にわたり、スコウゴー・インベスト社およびエネルギーセンター・ノーア社とともに同地域にて V112 (3,000kW) をはじめとする風力発電設備の試験を行ってきただけでなく、試験場の 75%が同地域の地権者および地元住民に販売される予定です。」

V164 のプロトタイプ初号機は、今年の初めに Østerild (ウスタイル) にあるデンマーク国立試験場に設置され、欧州の大手電力会社 DONG Energy とのパートナーシップのもとで、試験が行われています。

※ Skovgaard Invest ApS および Energicenter Nord について

両社は、ウィンドファームの開発、建設、運転におけるデンマーク有数のプロジェクトデベロッパーで、長期にわたる経験と優れた能力を有し、数々の風力発電プロジェクトを包括的に手がけています。

以 上